

2) コマスポ コロナ奮戦記

駒大スポーツ編集部前編集長
菅原菜央（文学部国文学科）

コマスポ編集長として最後の新聞制作期間。編集部内で校了と呼ばれている制作期間最終日の大事な日を、私は自宅で迎えていた。

本来であれば、制作の一部を依頼している産経新聞社のビルの一角を借り、編集部員全員が一堂に会して迎える日である。誤字脱字のチェックを行い、何度も繰り返し見た紙面を穴が空くほど見つめ、時間いっぱいまで確認作業を行う。

「今回は何もミスがありませんように！」

「特に人名やデータは要チェックだね」

という言葉を交わしながら、全員で作業をする時間はつらいけど楽しかった。

しかし集大成とも言える最後の制作期間は、編集部員と直接顔を合わせることなく校了を迎えたのである。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、だ。

私が二年生の最終授業を終え、春休みを迎えようとしていたころ、新型コロナウイルスという存在をニュースで確認した。どこか他人事だった海の向こうでの出来事は、その距離を物ともせず日本に上陸。恐ろしいスピードで全国に広がり、人類の日常生活を脅かす程の猛威を振るった。

大学スポーツでは一般的に、春、秋の二つのシーズンで大きな大会が開催される。私が担当していた硬式野球部もその一つである。しかし上陸したばかりの未知のウイルスを前に開催が出来るはずも無く、春季リーグ戦

は中止。この日のために練習してきた選手の気持ちを考えると胸が痛んだ。

同時に、大学スポーツ新聞部の記者である自分の存在意義を考え直すきっかけになった。私の中で「大会が無い」＝「記事が書けない」という方程式みたいな物が当たり前のように存在していた。今までは、試合に行き、結果を記録。大切な部分をメモした上で選手の話聞き、それを元に記事を書く、というのが通常の私たちの仕事であり、何も疑うこと無くそれをこなしていた。

しかし試合が無いとなった今、私たちに仕事はあるのか。出来ることは無いのではないだろうか。そう思って一度は新聞制作を断念しようと思った。断念、と言うよりも、そもそも発行できるビジョンが浮かばなかった。

けれど何もしないまま引退というのも腑に落ちず、すごく悩んだ。慎重に色々なことを検討した結果、試合が無くても記事を書くという決断を下し、新聞を発行することにした。正直、この決断が果たして正しかったのかと聞かれてしまうとすごく難しい。

しかし後に、駒大スポーツを購読してくださっている方から「大変な中発行してくれてありがとう」「あ那时的新聞、いつもと違う良さがあって面白かった」と声を掛けて頂いたり、応援して頂いたりした。そのようなありがたいお言葉で、とても救われた。

新聞を発行すると決めてからは、紙面に掲載するネタを探した。運動部で服飾販売を行い、売り上げでマスクを寄付した選手に話を伺ったり（「Tシャツ販売でマスク寄付」2020年7月13日発行（第96号））、普段は裏方として働いている主務の皆さんにも取材を受けて頂いた（「6部活の主務にQuestion!!」同号）。「大会が無い」＝「記事が書けない」という当たり前に染みついていた固定観念を払拭でき、自分が出来ることを見つけることが出来たのは、駒大スポーツ編集部で活動した中でも大きな収穫であった。

こうして振り返ると、すごく大勢の方に支えられてなんとか編集長という仕事をこなせていたように思う。部内の人数などにより本来2年次の夏以降に拝命する取材班リーダー、「チーフ」の役職に1年次の終わりに就いた際、気にかけて頻繁に仕事を手伝いに来て頂いた先輩方や、編集長の仕事を頂いたときに親身に仕事内容を教えて頂いた先輩方。部内では解決出来ないことなどを積極的に聞こうとしてくれた他大の新聞部の方々。様々な新聞部の話を聞くだけで、色々なやり方があるということを認識でき、部に還元できることも多かった。

そして、新型コロナウイルス感染拡大の中、試合が軒並み中止になっても次の機会を信じて練習を重ね、いつも我々の取材に嫌な表情一つ見せずに対応してくれる選手の皆様。何より、我々の新聞をいつも心待ちにしてくださり、時に温かい言葉をかけてくださる読者の皆様。

最後の最後まで、皆様の優しさに救われ、引退までの活動を滞りなく終えることが出来ました。空前の新型コロナウイルス感染拡大により、最後まで編集部員と共に顔を合わせて制作が出来なかったことはすごく心残りですが、この駒大スポーツ編集部でしかできない経験を数え切れないほど積むことが出来たと感じております。この場を借りて、お礼を申し上げさせていただきます。本当にありがとうございました。

今後とも、駒大スポーツ編集部をどうぞよろしくお願いいたします。

コロナ禍の中、編集発行されたコマスポ

「駒大スポーツ」第96号 2020年7月13日発行

貪欲に挑戦していきたい
7/13
B2 佐賀移籍
「がむしやらし」
Learn
Active-Live
Whisky.
LAWSON 特選
駒澤大学

マスコット
選手とともに
Sawdy
The Big Challenge
駒澤大学同窓会
神奈川北部支部
がんばれ！駒大生！
駒澤大学同窓会
<https://www.sokomaze-u.ac.jp/alumni>

今！新人列伝
全日本新人戦初優勝
CHAMPIONS
中村匠吾
新人選手
駒澤大学
なぜ彼らが走る姿は
こんなにも人を感動させるのだろう
駒澤大学陸上競技部後援会
駒澤大学陸上競技部後援会
高田洋規 監督
駒澤大学 陸上競技部
〒112-8601 東京都文京区駒沢3-1-1
TEL: 03-5862-6221 FAX: 03-5862-0251

主務にQuestion!!
石毛孝尚 青山尚大 大槻友也
田中詩乃 川島光矢 池田 舞
駒澤大学
教育後援会
<https://www.kurusawai-w.com>

「駒大スポーツ」第98号 2021年1月2日発行

全日本覇者が挑む!! 13年ぶりの箱根V



駒大

謹賀新年

よい年に合いますように

駒澤大学

監督の期待に応える

対談

箱根駅伝 王将覇者へ挑む駒大

駒澤大学四年生 神谷山北部支部

原点と新化、覚悟をもって頂点へ!

箱根へ最善のタスキを届け!

駒澤大学駅伝部

TEL: 052-222-1276

新化継続1年間 集大成の走りを見せる

最後の箱根駅伝

駒澤大学駅伝部

駒澤大学駅伝部後援会

駒澤大学駅伝部後援会

TEL: 052-222-1276

駒澤大学

新化

覚悟を持って頂点へ

駒澤大学駅伝部

駒澤大学駅伝部後援会

TEL: 052-222-1276

教育後援会

TEL: 052-222-1276

「駒大スポーツ」箱根駅伝優勝記念号外 2021年1月18日発行

